

マルチメディアデザイン		教授 白井 雅人	
科目カテゴリー	経営・経済コースの専門選択科目	科目ナンバリング	23002216

1. 授業のねらい・概要

今日動画サイトやSNSなどインターネットを通じて映像表現に触れる機会が非常に多くなっている。この講義では、そうした映像による表現の文法や、撮影・編集技術の基礎を身につけ、自ら短い映像作品を実際に制作するための手法を学ぶ。これにより、個人としてあるいは社会生活の中で、SNSなどを通じた映像による情報発信を行うための知識と技術を修得することを目指す。また同時に、さまざまなレベルやカテゴリに属する映像に触れる機会の多い現代生活の中で必要となるメディアリテラシーを身に付けることをも目標とする。

「画像情報学」を履修済みあるいは同時履修中であることを強く勧める。

2. 授業の進め方

講義とともにコンピュータを使った実習形式で行う。基本的にテーマごとに実習課題を課す。グループワークを行うこともある。

3. 授業計画

1. ガイダンス	9. ロケハン
2. カメラ撮影の基本	10. インタビューの企画
3. スマホによる撮影（写真）	11. インタビュー作品制作
4. スマホによる撮影（動画）	12. 文字の挿入
5. カット編集	13. 最終課題の準備
6. カット編集による作品制作	14. 最終課題の撮影
7. 映像制作工程	15. 最終課題の最終調整
8. 企画書の作成	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各回の講義において扱われた授業内容および実習内容を十分に復習し、撮影など授業時間外における必要な作業を行うこと。課題は指定回までに完成させ提出すること。この準備学修には3時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

各回の実習課題については、基本的にその都度講評を行う。最終課題については作品発表会を行い、その場で講評を行う。

6. 授業における学修の到達目標

映像編集ソフトの基本的な使用法を理解し、簡単な映像の合成や特殊効果をかけることなどができるようになる。また複数の技法を組み合わせた映像の編集により応用的な映像制作をこなせるようになる。さらに自ら撮影した映像にこれらの技法を組み合わせて加工することにより、高度にデザインされた映像を制作できるようになることを目指す。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢（20%）、授業内課題（40%）および最終課題とその発表（40%）による。

8. テキスト・参考文献

教科書として、黒岩 亜純、宮 徹（2017）『大学生のための動画制作入門：言いたいことを映像で表現する技術』慶應義塾大学出版会、を使用する。受講者は必ず入手し、毎回かならず持参すること。その他の参考文献については、その都度指示する。

9. 受講上の留意事項

実習が中心となるので、授業には必ず毎回出席すること。

撮影は基本的に各自のスマートフォンを使用して行う。映像の取り込みのため、必要なケーブル類を持参すること。

映像の作成には芸術的センスも求められる。映像の成り立ちに注意しながら映画などを見るように心がけること。